

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和4年度調査)

後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査

病院票

※この「病院票」は、病院の開設者・管理者の方に、貴施設における後発医薬品の採用状況やお考えについてお伺いするものですが、開設者・管理者が指名する方にご回答いただいても結構です。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。

（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「－」をご記入ください。

※特に断りのない場合は、令和4年11月1日現在の状況についてご記入ください。

※数値を入力する設問で、「小数点以下第1位まで」と記載されている場合は、小数点以下第2位を四捨五入してご記入ください。記載されていない場合は、整数をご記入下さい。

※災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

0. ご回答者についてお伺いします。

①性別 ※○は1つだけ	1. 男性	2. 女性			
②年代 ※○は1つだけ	1. 20代以下	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代以上
③職種 ※○は1つだけ	1. 開設者・管理者	2. 薬剤部門責任者	3. その他（具体的に：_____）		

1. 貴施設の状況についてお伺いします（令和4年11月1日現在）。

①所在地	（_____）都・道・府・県			
②開設者 ^{注1} ※○は1つだけ	1. 国	2. 公立	3. 公的	4. 社会保険関係団体
	5. 医療法人	6. その他の法人	7. 個人	

注1： 国立（国、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構）
公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）
公的（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
社会保険関係（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
医療法人（社会医療法人は含まない）
その他の法人（公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他の法人）

③開設年	西暦（_____）年			
④標榜診療科 ※あてはまる番号すべてに○	1. 内科 ^{注2}	2. 外科 ^{注3}	3. 精神科	4. 小児科
	5. 皮膚科	6. 泌尿器科	7. 産婦人科・産科	8. 眼科
	9. 耳鼻咽喉科	10. 放射線科	11. 脳神経外科	12. 整形外科
	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 歯科・歯科口腔外科	16. リハビリテーション科
	17. その他（具体的に：_____）			

注2 内科、腎臓内科、血液内科、リウマチ内科、糖尿病内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、感染症内科、アレルギー内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。

注3 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」としてご回答ください。

【前記④で「1.内科」と回答した方にお伺いします。】

④-1 内科の詳細 ※あてはまる番号すべてに○			
1. 腎臓内科	2. 血液内科	3. リウマチ内科	4. 糖尿病内科
5. 消化器内科	6. 呼吸器内科	7. 循環器内科	8. 1～7に該当なし

【前記④で「2.外科」と回答した方にお伺いします。】

④-2 外科の詳細 ※あてはまる番号すべてに○			
1. 呼吸器外科	2. 心臓血管外科	3. 乳腺外科	4. 気管食道外科
5. 消化器外科	6. 肛門外科	7. 小児外科	8. 1～7に該当なし

【すべての方にお伺いします。】

⑤DPC対応 ※○は1つだけ	1. DPC 対象病院	2. DPC 準備病院	3. DPC対象病院・準備病院以外
⑥オーダーリングシステムの導入状況 ※あてはまる番号すべてに○	1. 一般名処方に対応できるオーダーリングシステムを導入している		
	2. 後発医薬品名が表示されるオーダーリングシステムを導入している		
	3. バイオ後続品 ^{注4} が表示されるオーダーリングシステムを導入している		
	4. オーダーリングシステムを導入している（上記 1, 2, 3の機能はない）		
	5. オーダーリングシステムを導入していない		
⑦外来の院内・院外処方の割合	院内処方（ ）%+院外処方（ ）%=100% ^{注5}		
⑧特定入院料の状況 ※貴施設で算定しているものすべてに○	1. 回復期リハビリテーション病棟入院料		2. 地域包括ケア病棟入院料
	3. 救命救急入院料		4. 特定集中治療室管理料
	5. 小児入院医療管理料		
	6. その他、投薬・注射に係る薬剤料が包括されている特定入院料（精神科救急入院料等）		
	7. いずれも算定していない		
⑨許可病床数 ^{注6}	1) 一般病床（ ）床	2) 療養病床（ ）床	
	3) 精神病床（ ）床	4) 結核病床（ ）床	
	5) 感染症病床（ ）床	6) 合 計（ ）床	
⑩医師数(常勤換算) ※ ^{注7} ※小数点第一位まで			() 人
⑪薬剤師数(常勤換算) ※ ^{注7} ※小数点第一位まで			() 人
⑪-1薬剤師のうち、病棟専任の薬剤師数			() 人

注4: バイオ後続品とは、国内で既に新有効成分含有医薬品として承認されたバイオテクノロジー応用医薬品(以下「先行バイオ医薬品」という。)と同等／同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品として、異なる製造販売業者により開発される医薬品です。

本調査における「バイオ後続品」には、後発医薬品として承認されたバイオ医薬品(いわゆるバイオAG、先行品工場で製造された先行品と同一のバイオ医薬品)を含みます。

注5: 算定回数ベースにて整数でご記入ください。正確な数がわからない場合は概数でご記入ください。

例えば、院内投薬のみの場合は、院内処方に「100」を、院外処方に「0」をご記入ください。また、院外処方のみ場合は、「院内処方」に「0」を、「院外処方」に「100」をご記入ください。

注6: 回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟等の病床数は、医療法上の一般病床・療養病床の該当区分欄にその病床数も含めてご記入ください。

療養病床には介護療養病床も含めてください。

注7: 貴施設の1週間の所定労働時間を基本として、下記のように常勤換算して小数点第1位まで(小数点以下第2位を四捨五入)でご記入ください。

(例: 1週間の所定勤務時間が40時間の病院で、週4日(各日5時間)勤務の非常勤職員が1人いる場合
非常勤職員数(常勤換算)=(5時間×4日×1人)÷40時間(週所定労働時間)=0.5人)

	令和3年8月～10月の月平均値	令和4年8月～10月の月平均値
⑫外来患者延数	() 人/月	() 人/月
⑬在院患者延数	() 人/月	() 人/月
⑭処方箋料の算定回数 ※令和4年10月1か月間	() 回	
	令和3年10月1か月間	令和4年10月1か月間
⑮一般名処方加算の算定回数	一般名処方加算1	() 回
	一般名処方加算2	() 回

【前記⑮で令和3年と比べ、令和4年の一般名処方加算の算定回数が増えた方にお伺いします。】

⑮-1一般名処方加算の算定回数が増えた理由はどのようなものですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 一般名処方加算の点数が引き上げられたから	2. 後発医薬品の品質への不安が減ったから
3. 後発医薬品の安定供給への不安が減ったから	4. 先発医薬品を希望する患者が減ったから
5. オーダーリングシステムの変更など一般名処方に対応できる院内体制が整備されたから	
6. その他(具体的に:)	

【すべての方にお伺いします。】

⑯後発医薬品使用体制加算の算定状況 ※〇は1つだけ	令和3年11月1日		令和4年11月1日	
	1. 算定していない		1. 算定していない	
	2. 後発医薬品使用体制加算1		2. 後発医薬品使用体制加算1	
	3. 後発医薬品使用体制加算2		3. 後発医薬品使用体制加算2	
	4. 後発医薬品使用体制加算3		4. 後発医薬品使用体制加算3	
⑰後発医薬品調剤割合（診療報酬算定上の数値）	令和3年8月～10月		約（ ）%	
	令和4年8月～10月		約（ ）%	
⑱カットオフ値の割合（診療報酬算定上の数値） ※（後発医薬品ありの先発医薬品＋後発医薬品）÷全医薬品	令和3年8月～10月		約（ ）%	
	令和4年8月～10月		約（ ）%	
⑲供給停止となっている後発医薬品等の診療報酬上の臨時的な取扱いの適用（令和4年11月1日時点）	1. あり		2. なし	
⑳後発医薬品の使用割合を新指標で算出するに当たって問題はありますか。 ※〇は1つだけ ※算出方法：後発医薬品の規格単位数量/後発医薬品あり先発医薬品及び後発医薬品の規格単位数量			1. ある	2. ない

【前記㉔で「1.ある」と回答した方にお伺いします。】

㉔-1 具体的な問題点はどのようなものですか。 ※あてはまる番号すべてに〇
1. 薬剤情報の抽出、集計等の処理に手間がかかる
2. 算出用コードの変更が多く、修正作業が負担である
3. オーダリングシステムを導入していない
4. その他（具体的に： ）

2. 貴施設における後発医薬品の採用状況等についてお伺いします。

①後発医薬品の採用状況について、最も近いものはどれですか。 ※〇は1つだけ	
1. 後発医薬品を積極的に採用	2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に採用
3. 患者によって、後発医薬品を積極的に採用	4. 後発医薬品を積極的には採用していない
②後発医薬品を採用する際に重視することは何ですか。 ※あてはまる番号すべてに〇	
1. 後発医薬品メーカーが原薬、添加剤の製造国・製造場所を公開していること	
2. 後発医薬品メーカーが共同開発についての情報を公開していること	
3. GMP（医薬品の製造管理及び品質管理の基準）上、問題のないメーカーの製品であること	
4. メーカー（卸を通じたものも含む）からの情報提供が頻繁にあること	
5. 他の後発医薬品よりも薬価が安価であること	
6. 大病院で採用されていること	
7. 近隣の保険医療機関（病院・診療所）で採用されている処方銘柄であること	
8. 後発医薬品の適応症が先発医薬品と同一であること	
9. 納品までの時間が短いこと	
10. 欠品（品切れ） ^{注1} のない会社の製品であること	
11. 出荷調整のない会社の製品であること	
12. 供給停止や回収等の問題事例のない会社の製品であること	
13. 患者からの評判が良いこと	
14. 調剤がしやすい（例：容易に半割ができる、一包化調剤がしやすい）こと	
15. 患者が使用しやすいよう医薬品に工夫がなされていること（例：味が良い、かぶれにくいなど）	
16. メーカーの問い合わせ窓口における対応が充実していること	
17. 先発医薬品メーカー・その子会社が扱う後発医薬品であること	
18. 信頼のおける後発医薬品メーカーが扱う後発医薬品であること	
19. オートライズドジェネリックであること	
20. 包装の仕様としてバラ包装があること	
21. 簡易懸濁法に関する情報が記載されていること	
22. その他（具体的に： ）	
③上記②の選択肢1～22のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。	

注1：注文日を含めた供給不能期間が、平日は2～3日（遠隔地は4日）、土日 を挟んだ場合は2～5日（遠隔地は5～6日）以上の場合を指す。

【すべての方にお伺いします。】

④貴施設における後発医薬品の採用状況等についてお伺いします。 ※金額を記入する設問では、1000円未満は切り捨て（例：10万4552円 ⇒ 104,000円） ※正確な金額がわからない場合は、概数でご記入ください。			
医薬品区分	備蓄品目数 (令和4年11月1日)※注2	購入金額 (令和4年8月 ～10月までの合計額)	廃棄額 ^{注3} (令和4年8月 ～10月までの合計額)
1)調剤用医薬品	約 () 品目	約 () 円	約 () 円
2)上記1)のうち後発医薬品	約 () 品目	約 () 円	約 () 円
3)上記1)のうち先行バイオ医薬品	約 () 品目	約 () 円	約 () 円
4)上記1)のうちバイオ後続品	約 () 品目	約 () 円	約 () 円

注2：令和4年11月1日の数値が不明の場合は、貴施設が把握している直近月の初日の数値をご記入ください。

注3：経時変化や陳旧化した品目等による廃棄損耗金についてもご記入ください。

⑤前記④1) 調剤用医薬品および④2) 後発医薬品の備蓄品目数の内訳についてお伺いします。 ※令和4年11月1日時点 ※正確な品目数がわからない場合は、概数でご記入ください。				
		全医薬品		うち、後発医薬品
1) 内服薬		約 () 品目		約 () 品目
2) 外用薬		約 () 品目		約 () 品目
3) 注射薬		約 () 品目		約 () 品目
4) 合計		約 () 品目		約 () 品目
⑥後発医薬品使用割合 <新指標、数量ベース> についてお伺いします。 ※令和3年8月～10月、令和4年8月～10月 ※小数点以下第 1 位まで ※（1か月間に調剤した後発医薬品について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量）÷（1 か月間に調剤した後発医薬品ありの先発医薬品と後発医薬品について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量）×100（％）				
		8月	9月	10月
1) 外来	令和3年	(.) %	(.) %	(.) %
	令和4年	(.) %	(.) %	(.) %
2) 入院	令和3年	(.) %	(.) %	(.) %
	令和4年	(.) %	(.) %	(.) %

【3. は院外処方箋を発行している施設の方にお伺いします。】

※院外処方箋を発行していない施設の方は6ページの質問4. ①へお進みください。

3. 外来診療における処方箋発行時の状況や後発医薬品の採用（バイオ後続品を除く）に関するお考えをお伺いします。

【院外処方箋を発行しているすべての方にお伺いします。】

①外来患者に院外処方する場合の後発医薬品の採用状況について、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ			
1. 後発医薬品を積極的に採用	2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に採用		
3. 患者によって、後発医薬品を積極的に採用	4. 後発医薬品を積極的に採用していない		

【前記①で選択肢1～3(積極的に採用することがある)を選択した方にお伺いします。】

①-1 施設として後発医薬品を積極的に採用する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 患者が後発医薬品の使用を希望するから	2. 患者の経済的負担が軽減できるから
3. 飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから	4. 診療報酬上の評価があるから
5. 経営上のメリットがあるから	6. 医療費削減につながるから
7. 国が後発医薬品の使用促進を図っているから	8. 保険薬局が信頼できるから
9. その他（具体的に：)	

【院外処方箋を発行しているすべての方にお伺いします。】

②現在、一般名処方による処方箋を発行していますか。 ※○は1つだけ

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 発行している →質問③へ | 2. 発行していない |
|-----------------|------------|

【前記②で「2. 発行していない」と回答した方にお伺いします。】

②-1 一般名処方による処方箋を発行していない理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

- | |
|---------------------------------|
| 1. オーダリングシステムや電子カルテが未導入であるため |
| 2. 現在のシステムが一般名処方に対応していないため |
| 3. 処方箋が手書きのため |
| 4. 一般名では分かりにくく、医療従事者が混乱するため |
| 5. 一般名では分かりにくく、患者が混乱するため |
| 6. 手間が増えるため |
| 7. 保険薬局がメーカーを選択できることに疑問や不安があるため |
| 8. その他（具体的に： _____） |
| 9. 特に理由はない |

【院外処方箋を発行しているすべての方にお伺いします。】

③「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」について、どのような方法・タイミングで処方医に情報提供されることが最も望ましいと思いますか。 ※○は1つだけ

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 薬局から、調剤をした都度 | 2. 薬局から、一定期間に行った調剤をまとめて |
| 3. 薬局から、特定の場合にのみ（前回と調剤内容が異なる場合、副作用の問題が発生した場合等） | |
| 4. 患者から、お薬手帳等により次の診療日に | 5. 必要ない |
| 6. その他（具体的に： _____） | |

④「一般名処方の調剤」または「後発医薬品への変更調剤」の情報提供の頻度等について、保険薬局と予め合意した方法で行っていますか。 ※○は1つだけ

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1. 主に合意した方法で行っている | 2. 保険薬局によって様々である |
| 3. 合意した方法はない →質問5.①へ | 4. その他（具体的に： _____） →質問5.①へ |

【前記④で「1.主に合意した方法で行っている」または「2.保険薬局によって様々である」と回答した方にお伺いします。】

④-1 その方法はどのようなものですか ※あてはまる番号すべてに○

- | |
|--|
| 1. 調剤をした都度提供すること |
| 2. 原則、調剤をした都度行うが、前回と内容であった場合には連絡しないとする |
| 3. 一定期間に行った調剤をまとめて提供すること |
| 4. お薬手帳等により患者経由で次の診療日に提供すること |
| 5. 副作用等問題が発生した時だけ提供すること |
| 9. その他（具体的に： _____） |

→6ページの質問5. ①にお進みください。

【4. は院外処方箋を発行していない施設の方にお伺いします。】

4. 外来診療時における院内投薬の状況や後発医薬品（バイオ後続品を除く）の採用に関するお考えについてお伺いします。

【院外処方箋を発行していないすべての方にお伺いします。】

①外来診療時の院内投薬における後発医薬品の採用状況について、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ	
1. 後発医薬品を積極的に採用	2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に採用
3. 患者によって、後発医薬品を積極的に採用	4. 後発医薬品を積極的には採用していない

【前記①で選択肢1～3(積極的に採用)を選択した方にお伺いします。】

①-1 施設として後発医薬品を積極的に採用する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 患者が後発医薬品の使用を希望するから	2. 患者の経済的負担が軽減できるから
3. 飲みやすさなど製剤に工夫がみられるから	4. 診療報酬上の評価があるから
5. 経営上のメリットがあるから	6. 医療費削減につながるから
7. 国が後発医薬品の使用促進を図っているから	8. その他（具体的に： _____）

→質問5. ①にお進みください。

【5. はすべての施設の方にお伺いします。】

5. 入院患者に対する後発医薬品（バイオ後続品を除く）の採用に関するお考えについてお伺いします。

※ここでは、造影剤などの検査に用いる医薬品を含め、内服薬、注射薬及び外用薬の全てを対象とします。

①入院患者に対する後発医薬品の採用状況として、最も近いものをお選びください。 ※○は1つだけ	
1. 後発医薬品を積極的に採用	2. 薬の種類によって、後発医薬品を積極的に採用
3. 患者によって、後発医薬品を積極的に採用	4. 後発医薬品を積極的には採用していない
②今後、どのような対応が進めば、病院として、入院患者への投薬・注射における後発医薬品の採用を進めてもよいと思いますか ※あてはまる番号すべてに○	
1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底	
2. 後発医薬品メーカー・卸による情報提供体制の確保	
3. 後発医薬品に関する安定供給体制の確保	
4. 後発医薬品の価格のバラツキや品目数の整理統合	
5. 先発医薬品名を入力すると一般名処方できるオーダーリングシステムの導入	
6. 後発医薬品に対する患者の理解	
7. 後発医薬品を使用する際の診療報酬上の評価	
8. 後発医薬品の使用割合についての診療報酬上の評価	
9. 後発医薬品の原薬、製剤に関する製造方法、製造場所、製造国、共同開発などの情報開示	
10. 患者負担が軽減されること	
11. 患者からの希望が増えること	
12. その他（具体的に： _____）	
13. 特に対応は必要ない	
③前記②の選択肢1～12のうち、最もあてはまるものの番号を1つだけお書きください。	

6. バイオ後続品の採用に関するお考えについてお伺いします。

注：バイオ後続品とは、国内で既に新有効成分含有医薬品として承認されたバイオテクノロジー応用医薬品（以下「先行バイオ医薬品」という。）と同等／同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品として、異なる製造販売業者により開発される医薬品です。

本調査における「バイオ後続品」には、後発医薬品として承認されたバイオ医薬品（いわゆるバイオAG、先行品工場で製造された先行品と同一のバイオ医薬品）を含みます。

国内でバイオ後続品が承認されている先行バイオ医薬品	
先行バイオ医薬品の一般的名称 ^{注1}	先行バイオ医薬品 販売名
ソマトロピン	ジェノトロピン
エポエチン アルファ	エスポー
フィルグラスチム	グラン
インフリキシマブ	レミケード
インスリン グラルギン	ランタス
リツキシマブ	リツキサン
トラスツズマブ	ハーセプチン
エタネルセプト	エンブレル
アガルシダーゼ ベータ	ファブラザイム
ベバシズマブ	アバスチン
ダルベポエチン アルファ ^{注2}	ネスプ
テリバラチド	フォルテオ
インスリン リスプロ	ヒューマログ
アダリムマブ	ヒュミラ
インスリン アスパルト	ノボラピッド
ラニビズマブ	ルセンチス

注1：（遺伝子組換え）を省略して記載

注2： バイオ後続品と、いわゆるバイオAGのそれぞれが承認されている

【すべての方にお伺いします。】

①貴施設でのバイオ後続品の採用に関する考え方について最も近いものをお選びください。 ※○は1つだけ
1. バイオ後続品が発売されているものは、積極的に採用する
2. 品質や有効性、安全性に疑問がないバイオ後続品は積極的に採用する
3. 安定供給に疑問がないバイオ後続品は積極的に採用する
4. 品目によってはバイオ後続品を積極的に採用する
5. 先行バイオ医薬品とバイオ後続品の適応症が同じ場合は積極的に採用する
6. バイオ後続品を積極的には採用していない →質問③へ
7. バイオ医薬品（先行バイオ医薬品、バイオ後続品）の対象となる患者がいらない →質問④へ
8. その他（具体的に： _____） →質問④へ

【前記①で選択肢 1.～5.(バイオ後続品を積極的に採用する)と回答した方にお伺いします。】

②バイオ後続品を積極的に採用する場合、その理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 医師がバイオ後続品の採用を希望するから	2. 患者がバイオ後続品の使用を希望するから
3. 患者の経済的負担が軽減できるから	4. 診療報酬上の評価があるから
5. 経営上のメリットがあるから	6. 医療費削減につながるから
7. 国がバイオ後続品の使用促進を図っているから	8. いわゆるバイオAG ^{注3} であれば積極的に採用する
9. その他（具体的に： _____）	

注3：後発医薬品として承認されたバイオ医薬品（先行品工場で製造された先行品と同一のバイオ医薬品）を指します。

③バイオ後続品を積極的に採用していない理由としてあてはまるものをお選びください。 ※あてはまる番号すべてに○

- 【すべての方にお伺いします。】

※バイオ後続品の院外処方箋とは、バイオ後続品の製品名又は一般的名称で処方箋を発行する場合をいいます。
 なお、バイオ後続品の院外処方箋発行の対象となるバイオ製品は在宅自己注射が可能な製品であり、現在使用できるバイオ後続品は、インスリン製剤、ヒト成長ホルモン剤、エタネルセプト製剤、テリパラチド製剤です。

- 【⑤⑥は、前記④で「1.発行している」と回答した方にお伺いします。】

⑥バイオ後続品を院外処方するにあたって薬局・薬剤師に望むことはありますか。 ※あてはまる番号すべてに○

- 8

【⑦、⑧は前記⑤で選択肢 2.3.5.(一般的名称で処方)を選んだ方にお伺いします。】

⑦バイオ医薬品を一般名処方で処方する理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 一般名処方加算のため
2. バイオ後続品導入初期加算のため
3. 電子カルテで一般名が選択できるシステムになっているから
4. 薬局薬剤師もデバイスについて患者の好みを確認し、医師に情報提供すべきだから
5. 薬局薬剤師がバイオ後続品と先行バイオ医薬品のどちらを選択するかは患者の意向を確認し、医師に情報提供すべきだから
6. その他（具体的に： _____）

⑧バイオ後続品の一般名処方として望ましい表記はどれですか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. バイオ後続品の一般的名称（「〇〇〇（遺伝子組換え）[●●●後続1]」）
2. バイオ後続品の一般的名称だが（遺伝子組換え）と記載しない（「〇〇〇[●●●後続1]」）
3. 先行品の一般的名称（「〇〇〇（遺伝子組換え）」）
4. その他（具体的に： _____）

【前記④で「1.発行している」と回答した方にお伺いします。】

⑨令和4年度診療報酬改定で外来腫瘍化学療法診療料、外来化学療法加算におけるバイオ後続品導入初期加算が新設されたことで、貴施設におけるバイオ後続品の使用件数が増えましたか。 ※○は1つだけ

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

【前記④で「2.発行していない」と回答した方にお伺いします。】

⑩一般名処方による処方箋を発行していない理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. オーダリングシステムや電子カルテが未導入であるため
2. 現在のシステムが一般名処方に対応していないため
3. 処方箋が手書きのため
4. 一般名では分かりにくく、医療従事者が混乱するため
5. 一般名では分かりにくく、患者が混乱するため
6. 手間が増えるため
7. 保険薬局がメーカーを選択できることに疑問や不安があるため
8. その他（具体的に： _____）
9. 特に理由はない

【すべての方にお伺いします。】

⑪令和4年8月～10月のバイオ医薬品の処方件数について対象医薬品ごとにそれぞれご回答ください。

※先行バイオ医薬品とバイオ後続品に分けてご回答ください

	A.先行バイオ医薬品	B.バイオ後続品
A. インスリン製剤	() 件	() 件
B. ヒト成長ホルモン剤	() 件	() 件
C. 顆粒球コロニー形成刺激因子製剤	() 件	() 件
D. エタネルセプト製剤	() 件	() 件
E. テリパラチド製剤	() 件	() 件
F. アダリムマブ製剤	() 件	() 件

⑫令和4年8月～10月における以下の診療報酬の算定の有無・件数についてご回答ください。			
	1)算定の有無 ※それぞれ○は1つだけ		2)算定件数
A. 在宅自己注射指導管理料における バイオ後続品導入初期加算	1. 算定あり	2. 算定なし	() 件
B. 外来化学療法加算1における バイオ後続品導入初期加算	1. 算定あり	2. 算定なし	() 件
C. 外来化学療法加算2における バイオ後続品導入初期加算	1. 算定あり	2. 算定なし	() 件
D. 外来腫瘍化学療法診療料1における バイオ後続品導入初期加算	1. 算定あり	2. 算定なし	() 件
E. 外来腫瘍化学療法診療料2における バイオ後続品導入初期加算	1. 算定あり	2. 算定なし	() 件

⑬バイオ後続品への置換が進んでいない医薬品についてご回答ください。
※置換が進んでいない医薬品としてあてはまる番号すべてに○

1. インスリン製剤	2. ヒト成長ホルモン剤	3. エタネルセプト製剤	4. テリパラチド製剤
5. リツキシマブ製剤	6. トラスツズマブ製剤	7. ベバシズマブ製剤	8. インフリキシマブ製剤
9. アダリムマブ製剤	10. ラニビズマブ製剤	11. アガルシダーゼ ベータ製剤	
12. バイオ後続品の採用状況の差は、医薬品ごとにあまりない			
13. バイオ後続品を採用していない			

【前記⑬で選択肢 1.から11を選んだ方にお伺いします。】

⑭バイオ後続品への置換が進んでいない理由は何ですか。
前記⑬で選択した医薬品のうち特に置換が進んでいない医薬品を最大3つ選び、それぞれ理由をA～Hから選択してください。 ※選択した各医薬品について、それぞれあてはまる番号(A～H)すべてに○

	1つ目	2つ目	3つ目
特に置換が進んでいない医薬品を最大3つ記載→ (前記⑬の選択肢1.～11.から選択して記入)			
A 診療報酬上の評価が十分ではないから	A	A	A
B 対象の注射薬が対象となる患者がいらないから	B	B	B
C 患者負担があまり軽減されないから	C	C	C
D バイオ後続品の品目数が少ないから	D	D	D
E バイオ後続品の安定供給に不安があるから	E	E	E
F バイオ後続品導入初期加算を知らなかったから	F	F	F
G 先行バイオ医薬品との適応症の差があるから	G	G	G
H その他(具体的に:)	H	H	H

【前記⑭で選択肢A「診療報酬上の評価が十分ではないから」を選んだ方にお伺いします。】

⑮前記⑭の選択肢A「診療報酬上の評価が十分ではないから」の中であてはまる理由は何ですか。

※あてはまる番号すべてに○

	1つ目	2つ目	3つ目
前記⑬において選択した医薬品について回答ください→			
A-1 加算点数が少ないから	A-1	A-1	A-1
A-2 算定要件がわからないから	A-2	A-2	A-2
A-3 算定要件が厳しいから	A-3	A-3	A-3
A-4 初回処方日の属する月から逆算して3カ月しか算定できないから	A-4	A-4	A-4
A-5 月1回しか算定できないから	A-5	A-5	A-5

【すべての方にお伺いします。】

⑯今後、どのような対応が進めば、バイオ後続品の採用を進めてよいと考えますか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 診療報酬上の評価	2. より患者負担が軽減されること
3. 医師、薬剤師への国からのバイオ後続品に関する情報の周知	
4. 国からの国民への啓発と患者の理解	5. バイオ後続品企業からの情報提供
6. 先行バイオ医薬品からバイオ後続品に切り替えを含む臨床試験データの充実やガイドライン等の整備	
7. バイオ後続品の品目数が増えること	8. バイオ後続品の供給がより安定すること
9. バイオ後続品の在庫の負担軽減	10. 医療機関に対する経営的メリットがあること
11. その他（具体的に：_____）	
12. バイオ後続品を使用する必要はない	

7. 後発医薬品に係る最近の対応状況についてお伺いします。

①1年前と比較して後発医薬品の供給体制についてどのように感じますか。 ※○は1つだけ

1. 改善した	2. 変わらない	3. 悪化した
---------	----------	---------

②現在(令和4年11月1日)において、後発医薬品の処方割合に変化はありましたか。 ※○は1つだけ

1. 後発医薬品の処方割合がかなり減った
2. 後発医薬品の処方割合がやや減った
3. 後発医薬品の処方割合の変化はほとんどなかった
4. 後発医薬品の処方割合が増えた
5. わからない

【前記②で「1. 後発医薬品の処方割合がかなり減った」「2. 後発医薬品の処方割合がやや減った」と回答した方にお伺いします。】

③後発医薬品の処方割合が減った理由は何ですか。 ※最も影響の大きい項目を選んで○

1. 患者（家族含む）が先発医薬品を希望した
2. 後発医薬品の品質や医学的な理由（効果や副作用）に疑問があるので処方を減らした
3. 後発医薬品メーカーや卸による安定供給体制が整わないので処方を減らした
4. 後発医薬品の在庫が無い、あるいは入庫（入手）できないので先発医薬品に変更した
5. その他（具体的に：_____）

【すべての方にお伺いします。】

④後発医薬品の供給不安に関する対応として、どのようなことを行いましたか。 ※あてはまる番号すべてに○		
1. 後発医薬品を先発医薬品に採用品目の見直しを行った		
2. 後発医薬品を別の後発医薬品に採用品目の見直しを行った		
3. 同一成分の後発医薬品の入手が困難なため、代替のための後発医薬品の調達を行った		
4. 同一成分の後発医薬品の入手が困難なため、同一成分の先発医薬品の調達を行った		
5. 後発医薬品使用に関する患者の意向を把握または確認する頻度を増やした		
6. 患者からの後発医薬品使用に関する相談や苦情等の対応を行った		
7. 後発医薬品の品質や安全性に関する情報収集を行った		
8. 後発医薬品メーカーや卸から供給に関する情報の収集を行った		
9. 保険薬局と在庫状況や使用に関する情報交換を行った		
10. その他（具体的に：	）	

8. 後発医薬品の採用に関するお考えについてお伺いします。

【すべての方にお伺いします。】

①後発医薬品について、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(旧薬事法)」に基づく厚生労働大臣の承認を得るためには、どのようなデータ(例えば、人での血中濃度を測定する臨床試験データなど)が必要か、ご存知ですか。 ※○は1つだけ		
1. だいたい知っている	2. 少しは知っている	3. ほとんど知らない
②今現在、後発医薬品に関して不信感がありますか。 ※○は1つだけ		
1. ある	2. ない →質問③へ	

【前記②で「1.ある」と回答した方にお伺いします。】

②-1不信感を抱いたきっかけは何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○		
1. 先発医薬品との効果・副作用の違いを経験した		
2. 先発医薬品との使用感（味、色、剤形、粘着力等）の違いを経験した		
3. 後発医薬品メーカー間での効果の差を経験した		
4. 使用していた後発医薬品が品切れ・製造中止となった		
5. メーカーから必要な情報が公開されていなかった		
6. メーカーに情報提供を求めたが、対応に満足できなかった		
7. 医療関係者から後発医薬品に関する苦情を聞いた		
8. 後発医薬品の品質に疑問を呈するマスメディアの情報を見た・聞いた		
9. その他（具体的に：	）	

【すべての方にお伺いします。】

③医薬品を安く調達するために、他の医療機関等と共同で医薬品を調達する取組を行っていますか。 ※○は1つだけ		
1. 行っている	2. 行っていない	
④貴施設では、医薬品の有効性や安全性、費用対効果などを踏まえて作成された採用医薬品リスト等（いわゆる「フォーミュラリー」）を定めていますか。 ※○は1つだけ		
1. 定めている	2. 今は定めていないが、定める予定がある	
3. 定めていない（定める予定もない）	4. その他（具体的に：	）
⑤貴施設の所属する地域における地域フォーミュラリーの状況について教えてください。 ※○は1つだけ ※「フォーミュラリー」を地域の医療機関や薬局等の間で共有し、運用する取り組みを「地域フォーミュラリー」と呼びます。		
1. 地域フォーミュラリーが存在する	2. 地域フォーミュラリーは存在しない	
3. 地域フォーミュラリーを作成中である	4. どのような状況であるか分からない	
5. 地域フォーミュラリーがどのようなものが分からない		

⑥定めている(予定含む)フォーミュラリーまたは地域フォーミュラリーは、バイオシミラーを含んでいますか。 ※○は1つだけ				
	1. はい(含んでいる)	2. いいえ(含んでいない)	3. わからない・未定	4. 定めていない
A フォーミュラリー	1	2	3	4
B 地域フォーミュラリー	1	2	3	4

【フォーミュラリーまたは地域フォーミュラリーを定めている(定める予定がある)方にお伺いします。】

⑦貴施設における薬効群ごとのフォーミュラリーまたは地域フォーミュラリーの設定(予定含む)状況で、あてはまるものに○をつけてください。 ※薬効群ごとに○は1つだけ

		フォーミュラリー				地域フォーミュラリー			
薬効群		1.定めて いる	2.定める 予定	3.定めて いない	4.その他	1.定めて いる	2.定める 予定	3.定めて いない	4.その他
1	プロトンポンプ阻害薬(PPI) 注射薬	1	2	3	4	1	2	3	4
2	プロトンポンプ阻害薬(PPI) 経口薬	1	2	3	4	1	2	3	4
3	H2遮断薬(内服薬)	1	2	3	4	1	2	3	4
4	α-グルコシダーゼ阻害薬	1	2	3	4	1	2	3	4
5	グリニド系薬	1	2	3	4	1	2	3	4
6	HMG-CoA還元酵素阻害薬	1	2	3	4	1	2	3	4
7	RAS系薬(ACE阻害薬、 ARB等)	1	2	3	4	1	2	3	4
8	ビスホスホネート剤	1	2	3	4	1	2	3	4
9	G-CSF製剤	1	2	3	4	1	2	3	4
10	その他(具体的に)	1	2	3	4	1	2	3	4

【前記④で「1. 定めている」または「2. 今は定めていないが、定める予定がある」と回答した方にお伺いします。】

⑧フォーミュラリーを定めた目的を具体的にお書きください。 ※○は1つだけ

【前記⑧を回答した方にお伺いします。】

⑧-1 フォーミュラリーの設定により目的は達成できましたか。 ※○は1つだけ		
1. はい	2. いいえ	3. わからない
⑧-2 フォーミュラリーを定めたことにより、メリットを感じますか。 ※○は1つだけ		
1. はい	2. いいえ	

【前記⑧-2で「1. はい」と回答した方にお伺いします。】

⑧-3 フォーミュラリーを定めたことによるメリットは何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 薬物治療が標準化し、安全性が向上した	2. 医師の処方にかかる負担が軽減した
3. 患者の経済的負担が軽減された	4. 後発医薬品の使用促進につながった
5. 医薬品管理の在庫管理が容易になった	6. 医薬品の購入費削減、経営が合理化された
7. その他(具体的に:)	

【前記⑤で「1. 地域フォーミュラリーが存在する」、「3. 地域フォーミュラリーを作成中である」と回答した方にお伺いします。】

⑨-1. 貴施設は、地域フォーミュラリーの作成・改訂に関与していますか。 ※○は1つだけ					
1. 関与している			2. 関与していない		
⑨-2. どのような方法で公開・共有していますか。 ※あてはまる番号すべてに○					
1. ホームページで公開している			2. 地域の勉強会等の際に共有している		
3. 地域の薬剤調達に係る会議体で共有している					
4. その他（具体的に： _____）					
⑨-3. 共有する対象は誰ですか。 ※あてはまる番号すべてに○					
1. 病院	2. 診療所	3. 薬局	4. 医薬品卸業者	5. 保険者	6. 自治体
7. その他（具体的に： _____）					

【前記④で「3. 定めていない（定める予定もない）」と回答した方にお伺いします。】

⑩貴院でフォーミュラリーを設定しない理由はなんですか。 ※○は1つだけ	
1. メリットが感じられない →質問⑫へ	2. メリットは感じているが設定が困難である
3. その他（具体的に： _____） →質問⑫へ	

【前記⑩で「2. メリットは感じているが設定が困難である」と回答した方にお伺いします。】

⑪設定が困難と思われる理由はなんですか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. マンパワーが不足	2. 作成のための根拠情報の不足
3. 院内ルール of 合意形成が困難	4. 診療報酬上評価されていない
5. その他（具体的に： _____）	

【すべての方にお伺いします。】

⑫後発医薬品の使用促進について、国や地方自治体、製薬会社、医療関係者、国民においてどのような取組を行うことが効果的と考えますか。ご意見を自由にお書きください。

病院票の質問は以上です。ご協力いただきまして、ありがとうございました。
 お手数をおかけいたしますが、令和5年1月10日（火）までに専用の返信用封筒（切手不要）に封入し、
 お近くのポストに投函してください。